

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

仙台市立錦ヶ丘小学校（仙台市）

【取組内容⑤】 「保護者・地域に向けた多様な情報発信」

【概要】 学校の取組の紹介や家庭や地域との情報共有のため、学校webページを活用し、学習の様子等のオンデマンド配信を積極的に行った。また、保護者・地域に向けた対面によるGIGAスクール構想に関する勉強会の実施やライブストリーミング配信等による、情報発信の機会を設定し、保護者や地域のGIGAスクール構想に対する理解を深めた。



勉強会の様子



錦ヶ丘小学校の授業の様子を視聴し、子供たちが端末をどのように使っているのかを知りました

学校webページや動画共有サービスなどwebを使って、学校の情報発信を継続して行ってきた。

しかし、学校運営協議会の中で、「ブログを読んだり、編集された動画を見るだけでは、GIGAスクール構想による学校の変化がよく分からない。」という意見があり直接保護者がGIGAスクールについて学ぶことのできる勉強会を実施した。

低学年の親子が多く、クラウドに保存してある子供たちの学習履歴を見て、自分たちの時代との違いに驚愕



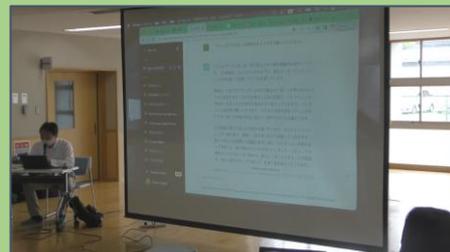
稲垣教授のファシリテートのもと、アプリを使った共同編集でGIGAの学びを疑似体験



講師：東北学院大学 稲垣 忠 教授

対象：親子20組

会場：錦ヶ丘小学校



ChatGPTの長所短所について、実際の挙動を見て学習

保護者向け参加型のGIGAスクール勉強会を実施！